

北斗の拳 × 越谷だるま

越谷ロータリークラブの65周年記念事業として、伝統的手工芸品の「越谷だるま」と越谷市に縁のある漫画家原哲夫さんの人気作品『北斗の拳』(©武論尊・原哲夫 / コアミックス 1983)とのコラボが実現。4月21日に北斗四兄弟(ケンシロウ、ラオウ、トキ、ジャギ)を描き入れた越谷だるまが市に寄贈されました。

北斗の拳とのコラボ

越谷市だるま組合(島田達磨総業)の協力のもと、市内在住のデザイナー花房茂さんがデザインしました。デザインは原哲夫さんが監修したもので、だるまの髭は職人の島田和明さんが、顔は原哲夫さんご本人が描いています。



除幕式



除幕式の様子

4月21日、市役所エントランス棟1階で除幕式が行われ、越谷ロータリークラブ会長の瀧田貴夫さんが福田晃市長に「北斗の拳 越谷だるま」を寄贈しました。

ケンシロウ



ラオウ



トキ



ジャギ



越谷ロータリークラブ 瀧田 貴夫さん

越谷市にゆかりのある原哲夫さんのご厚意により実現した「越谷だるま」とのコラボです。市民の皆さんが地域の魅力を再発見するきっかけになり、また、越谷市に多くの人にお越しいただき、喜んでもらえたらうれしいです。

ハナブサデザイン 花房 茂さん

伝統的手工芸品とアートを組み合わせることで地域を活性化することを目標に越谷市で起業し、これまで活動してきました。誰もが知る人気作品の「北斗の拳」と越谷市の伝統的手工芸品の「越谷だるま」を、アートのチカラでつなぐことができました。

島田達磨総業 島田 和明さん

越谷だるまの生産者が減っていく中で、今回の機会は私にとっても特別なものになりました。「北斗の拳」の魅力と「越谷だるま」の魅力を存分に知っていただき、さらにたくさんある越谷市の魅力も知ってもらいたいと思います。

展示場所

- 5月10日(日)まで…エントランス棟1階みんなのひろば
 - 5月11日(月)から…エントランス棟2階リバーサイドラウンジ
- * 展示場所は変更となる場合があります。最新の情報は市ホームページを参照
問 経済振興課 ☎967-4680、HP119173

「北斗の拳 × 越谷だるま」コラボ記念

漫画家 原 哲夫 さん

スペシャルインタビュー

島田達磨総業の工房で、越谷だるまに『北斗の拳』の主要キャラクター(ケンシロウ、ラオウ、トキ、ジャギ)の顔を描き入れる前に、漫画家の原哲夫さんにインタビューをしてきました。

今回の越谷だるまとのコラボについて、どのような感想をお持ちですか。

一話を聞いたときは、率直に面白そうだと思います。企業とのコラボも多いのですが、立体のものを活かしたまま、そこにキャラクターの顔を描くのって難しいんですよ。今回の越谷だるまについても、もともとあるだるまの凹凸に沿って北斗四兄弟を描く必要があるの、相当苦戦するのかなって…。もちろん楽しみでもありましたよ(笑)。



インタビュー中、笑顔で話す原哲夫さん

越谷市にお住まいだったと聞きました。

一越谷市はもともと亡くなった父親が住んでいたんです。その縁もあって小学4年生のときに家族で引っ越してきました。当時は、周りに田んぼがたくさんあって、その印象が強いです。急速に開発が進んだ時期でもあって、建設中の戸建て住宅もあちらこちらにありました。

越谷市で印象に残っていることを教えてください。

一小学生だった頃は、自然がたくさんあったので、秘密基地をつくったり、ケイドロ(チーム対抗の鬼ごっこ)など、やんちゃに遊んでいました。絵を描くのはその頃から好きでしたが、家の前での父親とのキャッチボールも印象に残っています。投げ方がおかしくて(笑)。野茂英雄さんのトルネード投法のようにお尻をこっちに向けていたのを覚えています。

中学生の頃は、どのように過ごしていましたか。

一中学2年生のときまでは中央中学校に

通っていました。その後、新設された栄進中学校に移りました。卒業1期生になります。

バレーボール部に所属していて元荒川の河川敷を走らされていた(笑)。卒業アルバム係になって、集合写真のようにクラスの友達を撮ったんですが、その絵を音楽の先生がすごく気に入ってくれたことをとてもよく覚えています。

越谷市民のみなさんにメッセージをお願いします。

一越谷市については、こどもの頃に遊んだ田んぼの風景や中学校の部活動で走った河川敷の水辺の風景が今も印象に残っています。今回のコラボに参加させていただき、越谷市民の皆さん、作品のファンの皆さんへの感謝や恩返しの気持ちが伝わればと思います。

